


様式及び記入例


※申請当日の年月日
〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

医学系研究科長 殿

2013年度以降入学者は全員、
総合医学専攻です。
2017年度入学
専攻名 総合医学専攻
専門分野名 糖尿病・内分泌内科学
氏名 ふりがな 鶴舞 つるまい 花子 はなこ 

学 位 申 請 書

名古屋大学学位規程第2条の規定により、関係書類を添え申請いたします。

指導教員 承認印	
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------

受付年月日	年 月 日
受付番号	第 号

※事務記入欄

報告番号	第	号
学位記番号	第	号
授与年月日	年	月 日

履 歴 書

ふりがな 氏 名※1	つるまい はなこ 鶴舞 花子	戸籍抄本の氏名 旧字体に注意 留学生は自国で発行された卒業証明書のとおり記載すること 全ての書類で同じ表記にすること	外字の有無 ※2	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
氏 名 (英字: Block capital) ※1、3	姓(Surname) 姓は全て大文字 TSURUMAI	名(Given name) 名は最初の1文字のみ大文字 Hanako		
生年月日 (西暦で記入)	1978 年 4 月 24 日	プルダウン	性別	女 プルダウン
本 籍 地 (外国籍は国籍を記入)	愛知県 プルダウン			
現住所	名古屋市昭和区〇〇町1-2-3 自宅住所			
学位取得後の連絡先	【住 所】 名古屋市昭和区〇〇町1-2-3			
	【電 話】 052-〇〇〇-△△△ 【携 帯】 090-〇〇〇-△△△			
	【Email】 〇〇〇@△△△△.××.jp			
所属研究科名 (論文博士は論文提出研究科名)	医学系研究科			
所属専攻名 (論文博士は記入不要)	総合医学専攻 2013年度以降の入学者は全員、総合医学専攻			
修了(予定)または満期退学年月日 (論文博士は記入不要)	2021 年 3 月 25 日		修了 修了、短縮修了、満期退学をプルダウンより 選択	
学位論文題目	Significant association of <i>urokinase plasminogen activator</i> Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population 大文字・小文字の使い分け、イタリック、スペース等を原著に揃える			
学位論文題目翻訳 ※4	日本人の一集団におけるウロキナーゼ型プラスミノゲンアクチベーター多型Pro141Leuと血清脂質特性との有意な関連 主論文の要旨の日本語訳と同題目にしてください。			
学位の種類	博士(医学)			
プログラム名 ※5	プルダウン			

- ※1 学位記は本履歴書に記載された氏名表記に基づいて作成します。わかりやすく明確に記入すること。
 ※2 学位記氏名に外字(旧字体、異体字等)が使用されている場合は「あり」、なければ「なし」にチェックをしてください。
 ※3 英字氏名は、姓のみ全て大文字、後は最初の1字が大文字で残りを小文字で書くこと。
 ※4 論文題目が外国語の場合は、日本語訳を必ず記入すること。論文題目が日本語の場合で、研究科の指示がある場合は、英語訳を記入すること。
 ※5 リーディングプログラム修了(予定)者のみ記入すること。

報告番号※事務記入欄	第 号
氏 名	鶴舞 花子
<p>学歴(大学卒業以降、すべて記入すること)すべて西暦で記入してください。</p>	
2011年3月25日	名古屋大学医学部医学科卒業
2011年6月1日	大垣市民病院にて研修開始 学部卒業後の2年間の研修期間
2013年3月31日	同修了
2017年4月1日	名古屋大学大学院医学系研究科博士課程総合医学専攻入学
2021年3月25日	同修了見込 2013年度以降入学者は全員、総合医学専攻です。
<p>研究歴 研究生として在学したことのある方は研究歴に記載してください。</p>	
2013年4月1日	名古屋大学医学部研究生入学
2014年3月31日	同終了 ※留学生は名古屋大学大学院医学系研究科大学院研究生入学
<p>職歴</p> <p>今現在までの職歴(常勤のみ)を全て記載してください。 勤務先の機関名(会社名、病院名など)勤務 としてください。 部、課、科や役職は不要です。</p>	
→ 2013年4月1日	大垣市民病院勤務
2014年3月31日	同退職
2014年4月1日	社会保険中京病院勤務
2018年3月31日	同退職
2018年4月1日	名古屋大学医学部附属病院勤務 現在に至る

→
31日卒業の
大学は殆ど
ないため
卒業証明書
などで必ず
ご確認ください。

→
2年間の研修
期間の続き
から記載して
ください。

論 文 目 録

報 告 番 号	※ 甲 第	号	氏 名	鶴舞 花子
<p>主 論 文</p> <p>題 目 大文字・小文字の使い分け、イタリック、スペース等を原著に揃える。 冊</p> <p>Significant association of <i>urokinase plasminogen activator</i> Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population</p> <p>主論文の要旨の日本語訳と同題目にしてください。 (日本人の一集団におけるウロキナーゼ型プラスミノゲンアクチベーター多型Pro141Leuと血清脂質特性との有意な関連)</p> <p>Gene Therapy 5巻3号 2021年2月 掲載予定 8枚</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 投稿原稿の場合、又は最終形が出版であるがWeb掲載段階の場合⇒ 掲載予定 ・ 最終形がWeb版でWeb掲載されている場合⇒ 掲載 ・ 既に出版されている場合⇒ 発行 <p style="text-align: right;"> ・ 投稿原稿の場合は投稿原稿、又は最終形が出版の場合のWeb掲載論文を片面印刷した時の用紙の枚数(図表等を含む) ・ Web版が最終形でWeb掲載されている場合、もしくは出版されている場合は枚数の記入は不要 </p> <p>(既に印刷公表したのものについては、その方法及び年月日、未公表のものについては、公表の方法及び時期を記入すること)</p>				
<p>副 論 文 研究内容が主論文と直接関係あるもの 冊</p> <p>題 目</p> <p style="text-align: center;">(同 上)</p>				
<p>参 考 論 文 研究内容が主論文と直接関係がないもの 冊</p> <p>題 目</p> <p>Low-dose granulocyte colony-stimulating factor enables the efficient collection of peripheral blood stem cells after disease-oriented, conventional-dose chemotherapy for breast cancer, malignant lymphoma and germ cell tumor</p> <p>(低用量の顆粒球コロニー刺激因子は、乳癌、悪性リンパ腫および胚細胞腫瘍に対する疾患志向の通常量の化学療法後の十分量の末梢血幹細胞採取を可能にする)</p> <p>Bone Marrow Transplantation 15巻1号 2020年3月発行 英文雑誌の場合は西暦で 和文雑誌の場合は元号で記入</p> <p style="text-align: center;">(同 上)</p>				

※様式を崩さず入力してください。

論文提出者の履歴表（課程）

[予備審査2020年 6月終了]

研究発表会の年月を記入してください。数字は全角。

ルビでふりがな

1. 氏名 ^{つるまい} 鶴舞 ^{はなこ} 花子 （1977年__4月24日生）
※数字は全角、1桁の場合は全角スペース。
入学年度のシラバスで確認してください。
2. 専攻 総合医学専攻2013年度以降入学者は全員、総合医学専攻です。
病態内科学講座 糖尿病・内分泌内科学

3. 論文題目および著者名 英文タイトルの大文字・小文字の使い分け、
イタリック、スペース等を原著に揃えてください。

Significant association of *urokinase plasminogen activator* Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population

主論文の要旨の日本語訳と一致させてください。

（日本人の一集団におけるウロキナーゼ型プラスミノゲンアクチベーター多型 Pro141Leu と血清脂質特性との有意な関連）

全角スペース 読点 ※漢字氏名がある場合は漢字。

鶴舞__花子、学務 次郎、李 梅花、名古屋 三郎、ジェームス シー スミス、
名大-愛知 桜子 ※英字氏名の場合はカタカナ

※論文で新姓・旧姓を記載している場合はその通りに記載。（ミドルネーム含む）

4. 公表 Gene Therapy 5巻3号 2021年2月掲載予定 8枚 IF:4.196

論文目録と一致させてください。数字は半角。 直近のインパクトファクターの数値

5. 指導教授 ○○○○原則、指導教授氏名(教授または代理教授不在の場合は准教授または特命教授氏名) 氏名の姓と名の間は詰めてください。(姓または名が1文字の場合のみ、姓と名の上に全角スペース。例：○○ ○、○ ○○○など)

6. 審査委員 (主) ○○○○__○○○○ ○○○○

教授氏名と教授氏名の間は全角スペース。

氏名の姓と名の書き方は5.と同じです。

7. 備考 2017年__4月__1日入学

2021年__3月25日修了見込

(休学期間：なし) 数字は全角、1桁の場合は全角スペース。

主論文の要旨

Significant association of *urokinase plasminogen activator* Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population

※ 英文タイトルの大文字・小文字の使い分け、イタリック、スペース等を原著に揃える

日本人の一集団におけるウロキナーゼ型プラスミノゲンアクチベーター多型Pro141Leuと血清脂質特性との有意な関連

※ 全ての書類の日本語訳について、こちらと同題目にしてください。

2013年度以降の入学者は全員、総合医学専攻です。

専攻名、講座名、分野名は入学年度のシラバスで確認してください。

名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻
病態内科学講座 糖尿病・内分泌内科学分野

原則、指導教授(教授、または代理教授。不在の場合は准教授 → (指導 : ○○ ○○ 教授)
または特命教授)

鶴舞 花子 ←戸籍抄本の氏名 旧字体に注意

留学生は自国で発行された卒業証明書
のとおり記載のこと

論文のインターネット公表について

- 2013年3月25日以降学位論文は、インターネットでの公表が義務づけられています。
- 別紙6の提出は全員必須です。
- ジャーナル等への著作権の確認は申請者に行っていただきます。
- 確認事項は、学位取得にあたり名古屋大学リポジトリに学位論文を登録して全文をインターネットにて公表が可能であるか。
可能でない場合は特定の日以降に公表が可能であるか。
その場合は公表可能日はいつか。

公表の可否に関わらず、ジャーナルにおける裏付となる根拠書類を添付すること。

- 期限日以降に公表可能な場合は、別紙6に公表日を記入すること。

なお、上記手続きを行わない場合は学位論文の受理申請を受けつけません。

参考サイト:名古屋大学附属図書館

<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/>

<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/hakuron/copyright.html>

根拠省令

学位規則

(1953年4月1日文部省令第九号)

最終改正:2013年3月11日文部科学省令第五号

第9条

博士学位授与申請者 各位

「博士論文」のインターネット公表確認書の提出について（依頼）

学位規則（1953年4月1日文部省令第九号）では、博士の学位を授与された者は、大学院における教育研究成果の電子化及びオープンアクセスの推進の観点から、博士論文についてインターネットを利用して公表することになっております。

しかしながら、やむを得ない特別な事由があると大学の承認を受けた場合には、インターネットでの公表を、当該論文の全文に代えてその内容を要約したものとすることができます。ただし、この場合であっても、その論文の全文を求めに応じて閲覧に供する必要があるあります。

については、博士学位授与後に論文全体をインターネット利用により公表することについて、別紙6「博士論文のインターネット公表確認書」の選択肢（【全文の公表が可能】，【全文の公表の保留を希望】，【要約の公表を希望】（全文の公表ができない場合））のいずれかの□にレ点チェックの上、博士学位授与申請に併せて提出くださるようお願いいたします。

<留意事項>

- ① 審査を行った研究科がやむを得ない事由があると認めた場合は、博士論文の全文に代えてその内容を要約したものを名古屋大学学術機関リポジトリの利用により公表することになります。

なお、出版刊行や学術ジャーナル等への掲載により公表に制約がかかる場合にあっては、公表が制約される時期が経過後に博士論文の全文を公表することになります。

- ② 博士論文の全文をインターネットで公表しない場合、又は、一定の期間を非公開とする場合であっても閲覧に供する必要があります。本学では、博士論文の電子データをもって本学附属図書館窓口にて閲覧に供することになります。

また、国立国会図書館でも利用に供されます。

- ③ 学術ジャーナルへの掲載又は出版刊行等のため、インターネットでの公表に際し著作権処理が必要になる場合は、各自、適切に処理してください。

博士論文のインターネット公表確認書

2020年11月21日

名古屋大学大学院 医学系研究科長 殿

※申請当日の年月日

学位の区分	課程	研究科・専攻	医学系研究科・総合医学専攻
学位授与 予定日	2021年3月25日	ふりがな 氏名	つるまい はなこ 鶴舞 花子

 【全文の公表が可能】

提出した博士論文（全文）について、公表することに問題はありません。

※全文の公表にあたり、出版社等から、例えば論文の体裁を変更する等の条件の指定がある場合は、その内容が分かる書類を併せて提出してください。

 【全文の公表の保留を希望】 ※ 保留期間中は要約を公表

提出した博士論文（全文）について、下記事由のため、インターネット公表の保留を希望し、保留期間中は要約を公表します。なお、下記事由の消滅等に伴う所定の届出書（様式：別紙7）については、自動的に公表となる場合を除き必ず提出いたします。

項目	事由	様式：別紙7 の提出時期
<input type="checkbox"/> 図書出版	<input type="checkbox"/> 出版済み。出版社の著作権ポリシーを確認した結果、（年 月 日）まで公表することができない。	提出不要・自動的に公表
	<input type="checkbox"/> 出版予定（年 月 月予定）で、出版社の著作権ポリシーを確認した結果、（出版後・年 月 日）まで公表することができない。	公表可能日（直後）
	<input type="checkbox"/> 出版予定（平成 年 月 月予定）で、出版社の著作権ポリシーを確認することができない。	出版予定日又は出版日（直後）
<input type="checkbox"/> 学術ジャーナル等への掲載	<input type="checkbox"/> 掲載済み。出版社等の著作権ポリシーを確認した結果、（年 月 日）まで公表することができない。	提出不要・自動的に公表
	<input type="checkbox"/> 掲載予定（年 月 月予定）で、出版社等の著作権ポリシーを確認した結果、（掲載後・年 月 日）まで公表することができない。	公表可能日（直後）
	<input type="checkbox"/> 掲載予定（年 月 月予定）で、出版社等の著作権ポリシーを確認することができない。	掲載予定日又は掲載日（直後）
<input type="checkbox"/> 特許・実用新案出願	<input type="checkbox"/> 特許出願予定又は審査中（出願公開前） 出願（予定）：年 月	出願公開日（直後）
	<input type="checkbox"/> 実用新案出願予定又は審査中 出願（予定）：年 月	登録日（直後）
<input type="checkbox"/> その他	（具体的な事由を記載）	事由の消滅日

 【要約の公表を希望】（全文の公表ができない場合）

提出した博士論文（全文）について、下記事由のため、インターネット公表はできませんので、要約での公表を希望します。

（具体的な事由を記載してください） 出版社等の著作権ポリシーを確認した結果、アクセプト原稿であれば出版の6ヵ月後に公表可能であるが、最終出版版である論文の全文公表は出来ない。本学位論文は最終出版版の論文であるため公表不可である。

- （記入例）・図書出版や学術ジャーナル等への掲載において、出版社等の著作権ポリシーを確認した結果、全文での公表ができない。
 （出版社等の著作権ポリシーを明記した書類の添付が必要）
 ・博士論文が立体形状による表現等を含むためインターネットでの公表ができない。
 ・秘匿すべき情報を含む又は公表することで重大な支障をきたす恐れがあるため。

※作成にあたっては、裏面の「作成の際の注意事項」を参照すること。

作成の際の注意事項

博士学位授与後に論文全体をインターネット利用により公表することについて、表面の選択肢（【全文の公表が可能】，【全文の公表の保留を希望】，【要約の公表を希望】（全文の公表ができない場合））のいずれかの□にレ点チェックの上、博士学位授与申請に併せて提出してください。

<留意事項>

- ① 審査を行った研究科がやむを得ない事由があると認めた場合は、博士論文の全文に代えてその内容を要約したものを名古屋大学学術機関リポジトリの利用により公表することになります。
なお、出版刊行や学術ジャーナル等への掲載により公表に制約がかかる場合にあつては、公表が制約される時期が経過後に博士論文の全文を公表することになります。
- ② 博士論文の全文をインターネットで公表しない場合、又は、一定の期間を非公開とする場合であっても閲覧に供する必要があります。本学では、博士論文の電子データをもって本学附属図書館窓口にて閲覧に供することになります。
また、国立国会図書館でも利用に供されます。
- ③ 学術ジャーナルへの掲載又は出版刊行等のため、インターネットでの公表に際し著作権処理が必要になる場合は、各自、適切に処理してください。



... opening access to research

Search - Publisher copyright policies & self-archiving

This version of Sherpa Romeo will be decommissioned on Friday 31 July 2020. Our new version is available at <https://v2.sherpa.ac.uk/romeo>.

One journal found when searched for: **0028-0836**

Journal: **Nature** (ISSN: 0028-0836, ESSN: 1476-4687)

RoMEO: This is a RoMEO yellow journal

Author's Pre-print:  author **can** archive pre-print (ie pre-refereeing)

Author's Post-print:  **subject to Restrictions below**, author **can** archive post-print (ie final draft post-refereeing)

Restrictions:

- 6 months embargo

Publisher's Version/PDF:  author **cannot** archive publisher's version/PDF

General Conditions:

- Research articles only
- On author's personal website, institutional repository and funder designated repository
 - Publisher's version/PDF cannot be used
- Authors retain copyright
- Must link to publisher version
- Published source must be acknowledged and DOI cited
- Post-prints are subject to Springer Nature re-use terms

Mandated OA: Compliance data is available for 24 funders

Notes:

- Applies to Research articles only

Copyright: [Pre-print policy](#) - [Self-archiving policy](#) - [Post-print re-use terms](#)

Updated: 20-Sep-2018 - [Suggest an update for this record](#)

Link to this page: <http://sherpa.ac.uk/romeo/issn/0028-0836/>

こちらのサイトで、journalの著作権を確認することが可能ですが、正式にjournalが出しているものではないため、こちらで検索した結果を裏付資料としてご提出いただくことは出来ません。journalの著作権の方向性を確認する際の参考にご利用ください。

- articles describing community experiments to compare the performance of software tools (policy introduced in November 2012)
- under exceptional circumstances, articles addressing important public health needs

The application of these licences is at the editor's discretion and for journals that do not have an open access option no article processing charge is applied. If you have questions about this type of content, please contact the journal's editor who will determine if the paper qualifies as part of one of these categories.

The licence used for OA articles in Nature Research subscription journals is CC BY 4.0. Our policies are compatible with the vast majority of funders' open access and self-archiving policies. Please see here for exceptions.

[Top of page →](#)

Self-archiving policy

Nature Research's policies are compatible with the vast majority of funders' open access and self-archiving mandates.

More information is available on the SHERPA/ROMEO website. Nature Research actively supports the self-archiving process, and continually works with authors, readers, subscribers and site-license holders to develop its policy.

Preprints

Nature Research journals encourage posting of preprints of primary research manuscripts on preprint servers, authors' or institutional websites, and open communications between researchers whether on community preprint servers or preprint commenting platforms. Preprints are defined as an author's version of a research manuscript prior to formal peer review at a journal, which is deposited on a public server (as described in Preprints for the life sciences. *Science* 352, 899–901; 2016); preprints may be posted at any time during the peer review process. Posting of preprints is not considered prior publication and will not jeopardize consideration at Nature Research journals. Manuscripts posted on preprint servers will not be taken into account when determining the advance provided by a study under consideration at a Nature Research journal.

Our policy on posting, licensing, citation of preprints and communications with the media about preprints of primary research manuscripts is summarized below.

Authors should disclose details of preprint posting, including DOI and licensing terms, upon submission of the manuscript or at any other point during consideration at a Nature Research journal. Once the preprint is published, it is the author's responsibility to ensure that the preprint record is updated with a publication reference, including the DOI and a URL link to the published version of the article on the journal website.

Authors may choose any license of their choice for the preprint including Creative Commons licenses. The type of CC-license chosen will affect how the preprint may be shared and reused. More information to help guide licensing choices can be found in these resource documents developed by an ASAPbio licensing taskforce.

Preprints may be cited in the reference list of articles under consideration at Nature Research journals as shown below:

▀abichev, S. A., Ries, J. & Lvovsky, A. I. Quantum scissors: teleportation of single-mode optical states by means of a nonlocal single photon. Preprint at <http://arxiv.org/abs/quant-ph/0208066> (2002).

Authors posting preprints are asked to respect our policy on communications with the media. Researchers may respond to requests from the media in response to a preprint or conference presentation by providing explanation or clarification of the work, or information about its context. In these circumstances, media coverage will not hinder editorial handling of the submission. Researchers should be aware however that such coverage may reduce or pre-empt coverage by other media at the time of publication. We also advise that researchers approached by reporters in response to a preprint make it clear that the paper has not yet undergone peer review, that the findings are provisional and that the conclusions may change.

Information about our self-archiving policies and release of Author's Accepted Manuscript may be found here.

Author's Accepted Manuscript

When a paper is accepted for publication in an Nature Research journal, authors are encouraged to submit the Author's Accepted Manuscript to PubMedCentral or other appropriate funding body's archive, for public release six months after first publication. In addition, authors are encouraged to archive this version of the manuscript in their institution's repositories and, if they wish, on their personal websites, also six months after the original publication. Authors should cite the publication reference and DOI number on the first page of any deposited version, and provide a link from it to the URL of the published article on the journal's website.

Where journals publish content online ahead of publication in a print issue (known as advanced online publication, or AOP), authors may make the archived version openly available six months after first online publication (AOP).

Please note that the Author's Accepted Manuscript may not be released under a Creative Commons license. For Nature Research's Terms of Reuse of archived manuscripts please see: <https://www.nature.com/nature-research/editorial-policies/self-archiving-and-license-to-publish#terms-for-use>.

Open access content

For open access content published under a Creative Commons licence, the published version can be deposited immediately on publication, alongside a link to the URL of the published article on the journal's website.

In all cases, the requirement to link to the journal's website is designed to protect the integrity and authenticity of the scientific record, with the online published version on nature.com clearly identified as the definitive version of record.

Manuscript deposition service

To facilitate self-archiving of original research papers and help authors fulfil funder and institutional mandates, Nature Research deposits manuscripts in PubMed Central

別紙6 外国の出版社に著作権許諾を聞く場合のメールの文章例

(ジャーナルや出版社のHPにて、著作権に関するページが見当たらない場合)

Dear Publisher,

Thank you for publishing our article. We hope to use our ***article (publisher version PDF)** as a thesis of ○○○(申請者氏名).

Our government requests us to make a thesis available online to the public, if permission is obtained by the publisher.

If this is against your policy, please let us know. We need a proof that the publisher declined the online release of our ***article (publisher version PDF)**.

If you can set up an embargo of the online release, please let us know the date of embargo.

Thank you.

Sincerely,

○○○(申請者氏名).

※学位申請時のバージョンの論文について問い合わせてください。

● **manuscript(Word file of authored manuscript converted to PDF)**

← PDF化した著者最終原稿(Word原稿)

● **article (publisher version PDF)** ← レイアウトが整った出版社版 PDF

レイアウトが整ったオンライン出版社版 PDF

学位論文は申請時点において最新の状態である必要があり、申請時のバージョンの論文が学位論文として図書館にリポジトリ登録されます。

申請後、段階の進んだバージョンの論文に差し替えたり、申請時のバージョンから遡ったバージョンの論文をリポジトリ登録することを不可とします。

例) 申請時の最新の状態が、Web掲載のオンライン出版社版=article(on line publisher version PDF)の場合、Word原稿=著者最終原稿(manuscript)を学位論文としたり、リポジトリ登録することはできません。

バージョン別カテゴリー

A

- 著者最終原稿 (author proof)
- word原稿
- manuscript
- accepted author manuscript
- accepted version
- in press
- post print
- peer reviewed version

B

- オンライン出版社版
published online

- ジャーナル編集中pdf版
(巻・号等未定)
- corrected article
- online first
- e pub ahead of print
- in press

- ジャーナル編集済pdf版
(最終版) (冊子の出版がない雑誌)
- final article
- version of record

C

- 出版社版
- ジャーナル編集済pdf版
(最終版) (冊子掲載論文のpdf)
- final article
- final published version/pdf
- version of record
- published Journal article
- publisher version/pdf

学位論文のバージョンがカテゴリー A の場合

学位申請する論文のジャーナルのHP等にて、
著作権（copyright policy、self archiving、terms and conditions等）の内容を確認した結果

リポジトリ登録による公表可能な学位論文が

カテゴリー A の
論文
という結果の場合

別紙 6 は

【全文の公表が可能】

カテゴリー B, C の
論文
という結果の場合

別紙 6 は

【要約の公表を希望】
+ 事由
(= 公表不可)

出版後、一定の
エンバーゴ期間が
経過すれば
カテゴリー A の
論文
という結果の場合

別紙 6 は

【全文の公表の保留を希望】
→ 学術ジャーナル等への掲載
→ 掲載予定
(平成 年 月 日予定)で
・・・まで公表することが
できない。

出版後、一定の
エンバーゴ期間が
経過すれば
カテゴリー B, C の
論文
という結果の場合

別紙 6 は

【要約の公表を希望】
+ 事由
(= 公表不可)

学位論文のバージョンが**カテゴリーB**の場合

学位申請する論文のジャーナルのHP等にて、
著作権（copyright policy、self archiving、terms and conditions等）の内容を確認した**結果**

リポジトリ登録による公表可能な学位論文が

カテゴリー**A**の
論文

という**結果**の場合

別紙6は

【要約の公表を希望】
+ 事由
(= 公表不可)

カテゴリー**B,C**の
論文

という**結果**の場合

別紙6は

【全文の公表が可能】

カテゴリー**C**の
論文

という**結果**の場合

別紙6は

【要約の公表を希望】
+ 事由
(= 公表不可)

出版後、一定の
エンバーゴ期間が
経過すれば
カテゴリー**A**の
論文

という**結果**の場合

別紙6は

【要約の公表を希望】
+ 事由
(= 公表不可)

出版後、一定の
エンバーゴ期間が
経過すれば
カテゴリー**B,C**の
論文

という**結果**の場合

別紙6は

【全文の公表の保留を希望】
→学術ジャーナル等への掲載
→掲載予定
(平成 年 月 日予定)
・・・まで公表することが
できない。

出版後、一定の
エンバーゴ期間が
経過すれば
カテゴリー**C**の
論文

という**結果**の場合

別紙6は

【要約の公表を希望】
+ 事由
(= 公表不可)

学位論文のバージョンがカテゴリーCの場合

学位申請する論文のジャーナルのHP等にて、
著作権（copyright policy、self archiving、terms and conditions等）の内容を確認した結果

リポジトリ登録による公表可能な学位論文が

カテゴリーAの
論文

という結果の場合

別紙6は

【要約の公表を希望】
+ 事由
(= 公表不可)

カテゴリーB,Cの
論文

という結果の場合

別紙6は

【全文の公表が可能】

カテゴリーCの
論文

という結果の場合

別紙6は

【全文の公表が可能】

出版後、一定の
エンバーゴ期間が
経過すれば
カテゴリーAの
論文

という結果の場合

別紙6は

【要約の公表を希望】
+ 事由
(= 公表不可)

出版後、一定の
エンバーゴ期間が
経過すれば
カテゴリーB,Cの
論文

という結果の場合

別紙6は

【全文の公表の保留を希望】
→学術ジャーナル等への掲載
→掲載済。
・・・まで公表することが
できない。

出版後、一定の
エンバーゴ期間が
経過すれば
カテゴリーCの
論文

という結果の場合

別紙6は

【全文の公表の保留を希望】
→学術ジャーナル等への掲載
→掲載済。
・・・まで公表することが
できない。

学位論文に関する情報開示

記入例

2020年 11月 21日
※申請当日の年月日1 専攻名 総合医学専攻2 分野名 ●●●●●学3 氏名 鶴舞 花子

4 学位論文

(例) Silverman BK, Brecks T, Craig J, Nadas AS. Congestive failure in the newborn caused by cerebral A-V fistula. Am J Dis Child, 1955; 89: 539-545. (全著者名, 論文タイトル, 雑誌詳細)

Tsurumai H, Brecks T, Craig J, Nadas AS. Significant association of *urokinase* plasminogen activator Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population. *Gene Therapy*, 2021 Feb;5(3):539-545.

5 学位論文掲載誌はPubMedのMEDLINEに登録されていますか? (PMCのみはNoになります)

Noの場合、雑誌創刊年はいつですか。コメントがある場合は以下の欄に記述してください。

Year

Yes

(注) PubMedのMEDLINEの登録有無は<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog?term=currentyindexed>
雑誌創刊年は<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>で検索できます。

6 学位論文掲載誌はWeb of ScienceのSCIもしくはSCIEに登録されていますか? (ESCIはNoになります)

Yesの場合、最新のインパクトファクターはいくつですか。

Noの場合、雑誌創刊年はいつですか。コメントがある場合は以下の欄に記述してください。

IF

Year

Yes

3.203

(注) Web of ScienceのSCIもしくはSCIEに登録された雑誌にはインパクトファクターが付きます。

SCI, SCIEの登録有無は<http://mjl.clarivate.com/cgi-bin/jrnlst/jlresults.cgi?PC=D&Alpha=A>で検索できます。雑誌創刊年は<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>で検索できます。

7 学位申請者は単独の筆頭著者ですか?

Noの場合は、equal contributorsの貢献を具体的かつ詳細に記述してください。

Yes

8 学位論文のcontributorsの開示欄に、学位申請者が、論文もしくは論文ドラフトを書いたことが明示されていますか?

Noの場合、もしくは、contributorsの開示がない場合、学位申請者が論文執筆にどのような貢献をしたか具体的に記述してください。

No

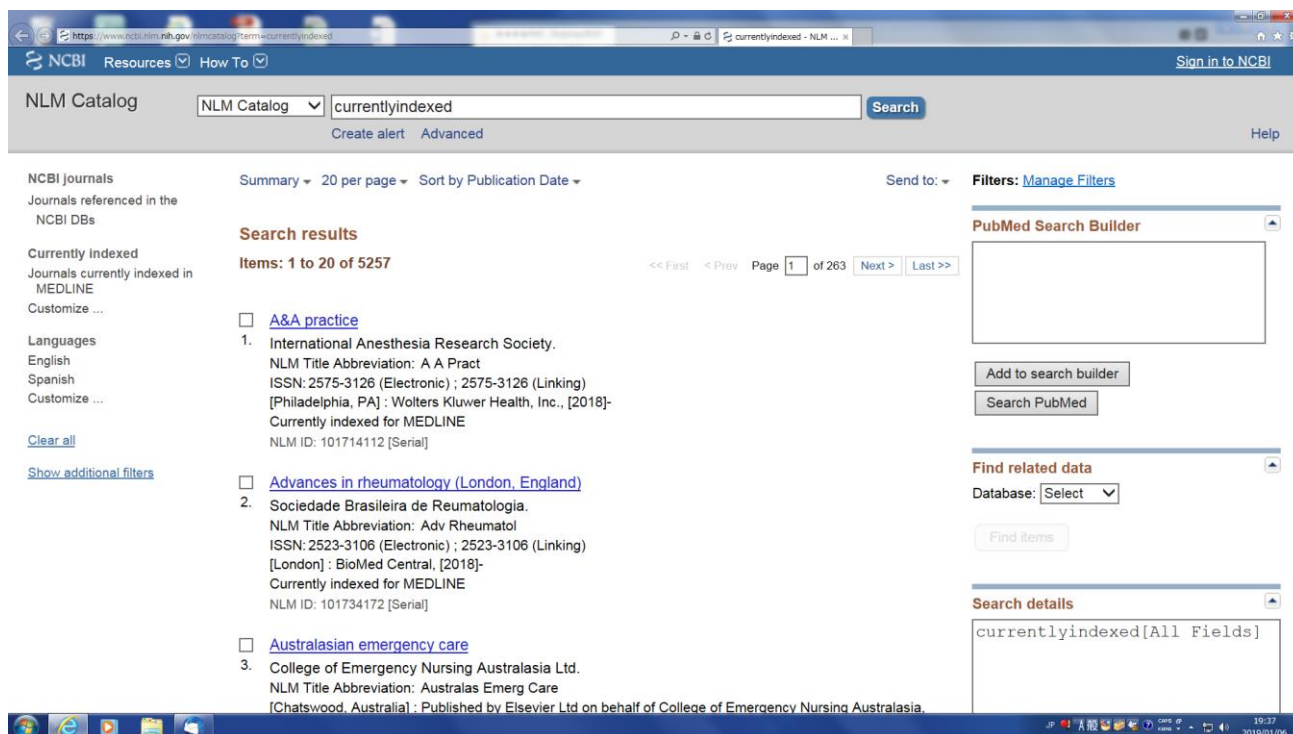
学位申請者がこの研究に取り組み、主要なデータを探り、その研究成果をまとめて執筆した。

指導教員 (自著)

印

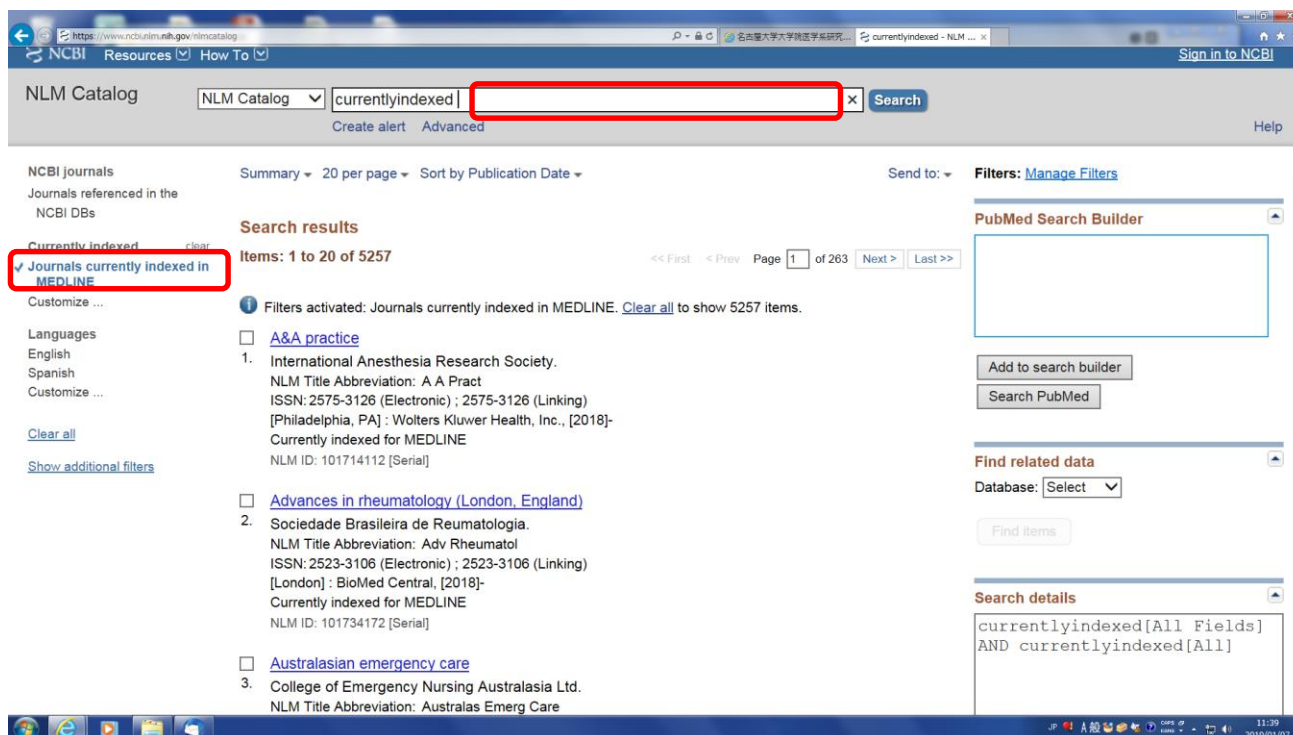
◆ MEDLINE における選定収録の確認 ◆

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog?term=currentlyindexed>



米国国立生物工学情報センター(NCBI)が運営する上記 WEB ページにて NLM Catalog 検索とする。

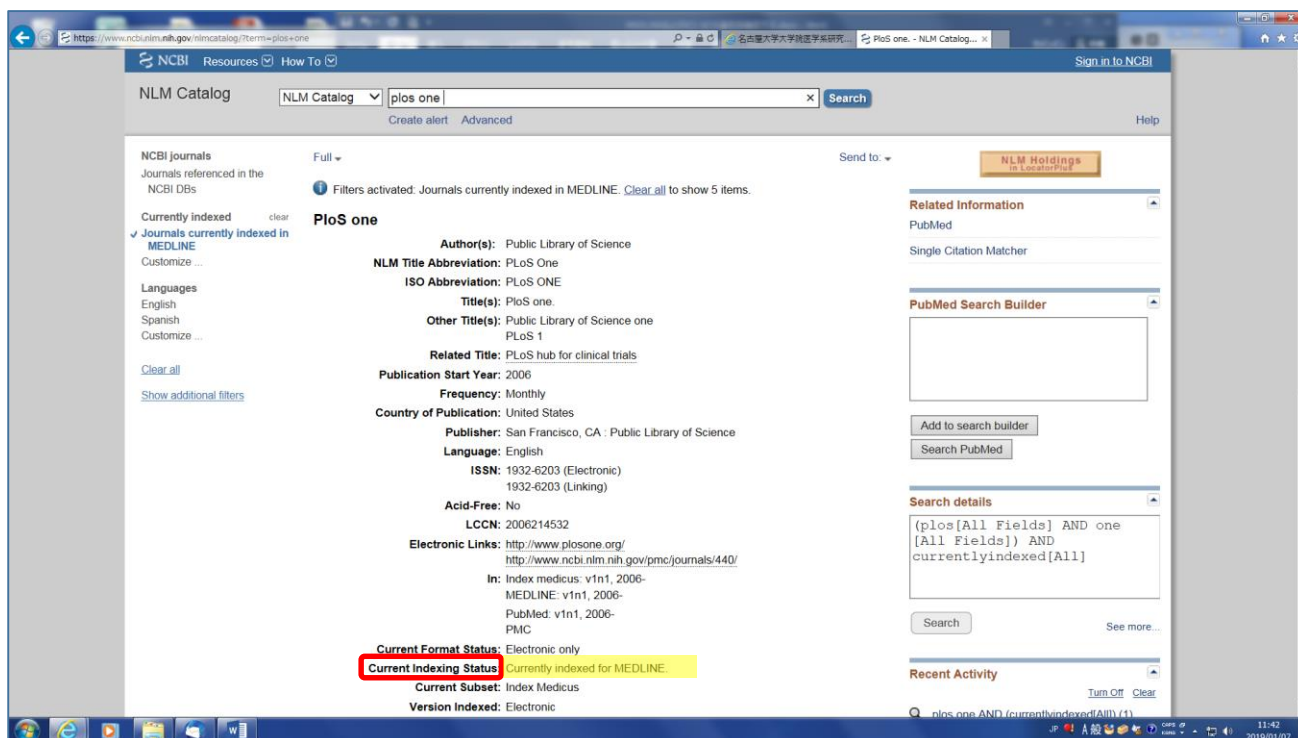
”Journals currently indexed MEDLINE” を選択の上、currentlyindexed 欄に雑誌名を入力して検索。



検索の結果、雑誌の詳細が表示される。

「 **Current Indexing Status : Currently indexed for MEDLINE.** 」

の表示があることを確認し、当該部分を**マーキング**したものを学位申請書類とともに提出する。

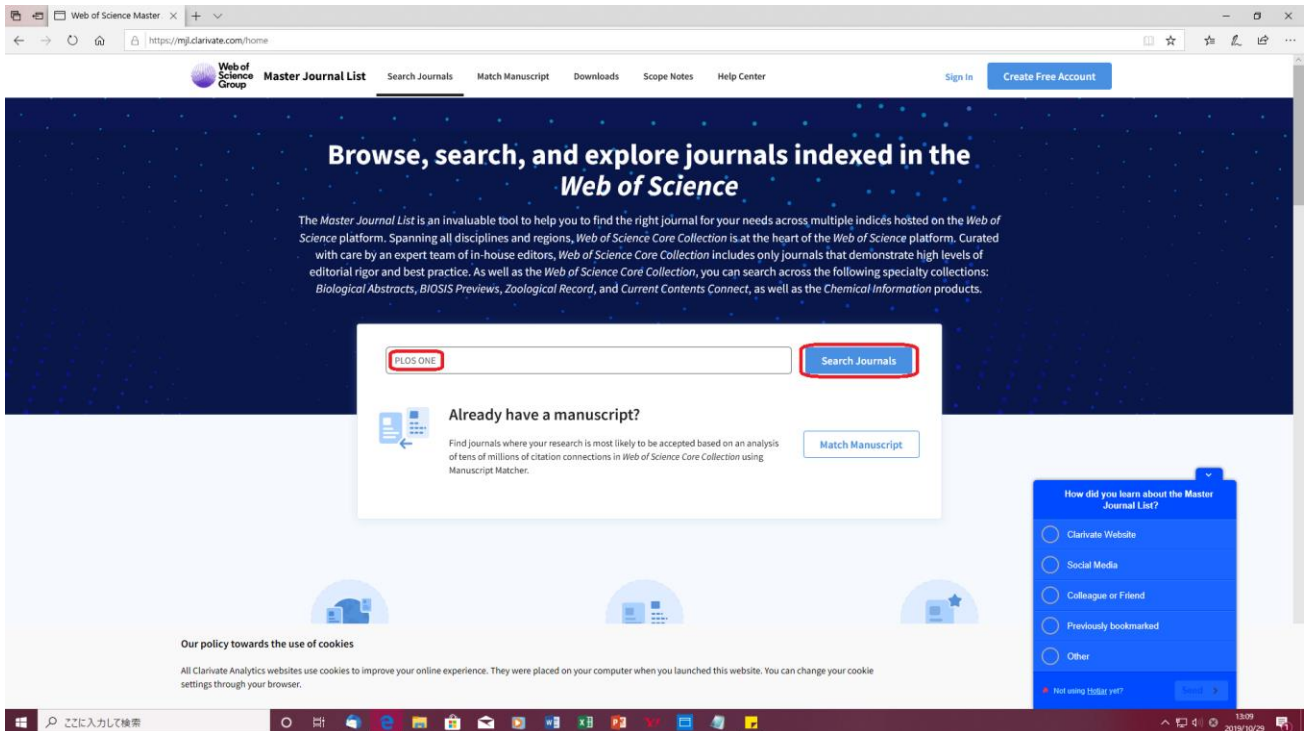


注意 PMC (旧 PubMed Central) は MEDLINE とは異なります。

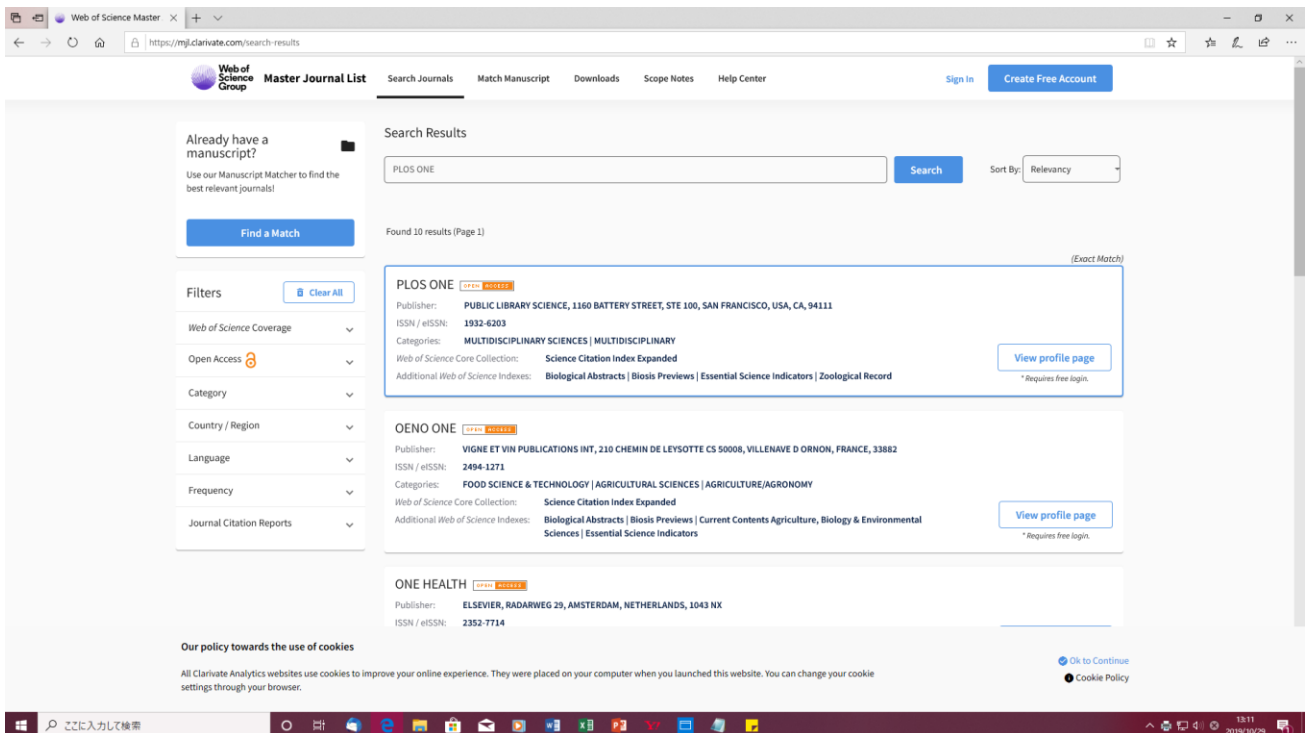
PMC のみでは、医学系研究科博士学位申請論文として、**原則認められません。**

◆ Web of Science (SCI/SCIE) における選定収録の確認 ◆

<https://mjl.clarivate.com/home>



上のページにて「学位論文掲載雑誌名」を入力して検索する。



学位論文掲載雑誌の詳細が表示される。

Web of Science について **Science Citation Index** または **Science Citation Index Expanded** の選定収録雑誌であることを確認する。

当該部分をマージングしたものを学位申請書類とともに提出する。

The screenshot shows the Web of Science Master Journal List search results for 'PLOS ONE'. The search bar contains 'PLOS ONE' and the search button is highlighted. The results are sorted by 'Relevancy'. The first result is 'PLOS ONE', which is highlighted with a blue border. The 'Web of Science Core Collection' and 'Science Citation Index Expanded' are highlighted in yellow in the 'Additional Web of Science Indexes' section. The second result is 'OENO ONE' and the third is 'ONE HEALTH'. The page also includes a sidebar with filters and a footer with a cookie policy notice.

SCI : **Science Citation Index**

SCIE : **Science Citation Index Expanded**

Science Citation Index または **Science Citation Index Expanded** の表示があれば、当該雑誌には IF(インパクトファクター)が付与されていますので、別紙8へ IF の数値も記入すること。

注意 **ESCI(Emerging Sources Citation Index)** は、医学系研究科博士学位申請論文として、**原則認められません。**